

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

奄美大島流域森林・林業活性化センターへの現地案内

令和8年3月5日(木)

令和8年3月5日(木)、沖縄県の県産木材供給・利用状況を視察に来た奄美大島流域森林・林業活性化センター10名に対し現地案内を行った。

本視察では、県産木材の加工・保管状況を把握するため国頭村森林組合と企業組合キンモクを案内し、県産木材利用の参考事例として国頭村役場とやんばる森のおもちゃ美術館を案内した。

本県では、リュウキュウマツ、クスノキ、センダン、ホルトノキ、イジュ、イタジイ、ソウシジュなど、様々な特徴を持った樹種が取り扱われており、その特徴を活かした利用が行われている。

奄美群島においても同様の樹種が生育しており、本県の供給・利用状況は大いに参考になったようであった。

また、本県では県産木材供給不足が課題となっていることから、奄美群島からの木材供給も期待しているところである。

今後とも奄美大島流域森林・林業活性化センターとの交流を続け、両地域の木材利用を活性化させていきたいと考えている。



沖縄の森林・林業の概要説明



企業組合キンモクの視察



国頭村森林組合の視察



やんばるおもちゃ美術館の視察

(報告者：森林管理課 仲里・平田・石垣)